

令和4年度 府立菟道高等学校 学校経営計画（スクールマネジメントプラン）

R4.4.4

学校経営方針（中期経営目標）	前年度の成果と課題	本年度学校経営の重点（短期経営目標）
<p>1) 集団の中で切磋琢磨し人格の形成を図る。</p> <p>2) 個人の尊厳を重んじ、知・徳・体の調和のとれた発達を図る。</p> <p>3) 地域に根ざした一層豊かな学校文化、「菟道文化」の創造を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 落ち着いた学習環境を維持し、あらゆる教育活動において粘り強い指導を行った。学校評価アンケートでは教育活動について一定の評価が得られた。 ○ 教員が一人一台タブレット端末を持つことにより、ICTを積極的に活用した授業を展開することで、今年度から始まるBYODに備えることができた。授業改善に向けた取組は継続する必要がある。 ○ 特色化事業やUJI学においては、コロナ禍の影響で発表や参加の機会が限られたが、生徒は真摯に、かつ意欲的に取り組むことができた。コロナ禍の状況を見据え、学年、担当分掌、教科等で取り組み時間の確保や担当者間での調整が必要である。また、今年度入学生の総合的な探究の時間への移行の工夫が課題である。 ○ 外部機関とも連携しながら心身に悩みを抱える生徒や特別支援を要する生徒への指導を行った。今後も全教職員の知識と技能のスキルアップを目指す。 ○ 広報活動では、学校公開・説明会・HP等の中で本校の魅力発信のために、在籍生徒の教育活動や学校生活の様子をさらに効果的に発信することが課題である。 ○ 希望進路実現に向けて最後まで粘り強く丁寧な指導を続けた。納得のいく進路実現のため全校体制で3月まで指導していく組織作りが必要である。 ○ コロナ禍の影響で、学校行事や平素の教育活動の変更を余儀なくされたが、柔軟に工夫を凝らしながら教育活動を行うことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒が安心して堂々と真面目な高校生活が送れる落ち着いた学習環境を維持する。 ○ 本校の校訓である「さとく」「さやかに」「たくましく」をすべての教育活動の中に具現化し、「知」「徳」「体」のバランスのとれた生徒の育成を図る。 ○ 質の高い授業をはじめとするすべての教育活動を通して組織的で計画性のある指導を行い、学力向上と進路希望の実現を目指す。 ○ 種々の課題を抱える生徒に対し、手厚い指導を行い、安心して学校生活を送れるような指導体制を整える。 ○ スマートスクール推進事業の成果と課題を踏まえ、タブレット端末やオンライン授業を活用した教育活動がさらに進むよう努める。 ○ 広報活動において、卒業生や在校生が直接中学生や保護者に語る機会を設け、菟道高校生の良さをアピールし生徒募集につなげる。 ○ 特色化事業で得た知見を基に「総合的な探究の時間」の活動内容を具体的に計画し、円滑に取り組むことができるよう図る。